

## 第36回日本心臓核医学会総会・学術大会 オンデマンド配信予定セッション

セッション名	セッションテーマ	演題名	氏名
学会賞受賞講演	-	心臓核医学における左室同期指標（エントロピー）を用いた予後予測の研究	黒沼 圭一郎
第26回若手研究者奨励賞審査講演	-	急性期にMINOCAと診断された症例における心筋血流・脂肪酸代謝二核種SPECTの有用性	古川 亜実
	-	ATTR症例の99mTc-PYPシンチによるSPECT/CTでの心筋集積定量値とH/CL ratioとの相関	北村 拓也
第15回学会賞技術部門選考講演	-	極座標解析を用いた野生型トランスサイレチン心アミロイドーシスの局所集積不均一性と心機能障害の相関	辻本 正和
Case Presentation Award	-	FDG PET/CTで偶発的に検出された晩期放射線性心筋障害の1例：cardio-oncology時代の心筋集積読影の重要性	真鍋 治
	-	腹膜透析導入後の再評価でTGCVを疑った糖尿病合併びまん性冠動脈病変の1例	石澤 幸拓
	-	修正大血管転位症における心筋障害の局在評価： <sup>123</sup> I-BMIPPとCT・MRI融合画像の有用性	斉藤 利典
	-	冠動脈高度狭窄病変とタコツボ型心筋症を合併した1型CD36欠損症の1例	西脇 時雄
JSNC-ASNC Joint Symposium	-	Advances in Myocardial Perfusion Imaging: Cardiac PET and AI Enhancements to Improve SPECT	Jamieson M. Bourque
テクノロジストセッション	標準化プロトコル	心筋血流 SPECT 撮像の標準化に関するガイドライン2.0の概要	澁谷 孝行
シンポジウム1	非虚血性心筋症に画像イメージングをどう活かせるか。マルチモダリティの強み	-	重永 裕
		非虚血性心筋症をどう評価するか ― マルチモダリティ時代の核医学の強み ―	市川 泰崇
シンポジウム2	AIは心臓核医学をどう変えるか？	SPECT 2.0への道 -画像データ・定量指標・AIの統合戦略	鈴木 康之
		画像診断AIの社会実装における倫理的課題	福島 賢慈
		AI によるリスク層別化と臨床的アウトカムへの寄与	奥田 光一
シンポジウム3	キャリアパス・核医学専門医が開業して	ある心筋シンチ医が辿り着いた胸痛患者の診かた・治し方	蓼原 太
		心臓核医学検査を開業医として日常診療に活かす-心不全医療連携を含めて-	松尾 信郎
		核医学経験は開業医診療にどう活かせるか	川村 一太
		核医学専門医が実践するプライマリケアの現状	百瀬 満
シンポジウム4	今ホットなCMD/INOCAの病態にせまる画像診断と生理学的評価の役割	心臓MRIが拓くCMD/INOCAの診断と病態解明	長尾 充展
		カテ室での侵襲的INOCA診断の意義を再考する	割澤 高行
		心臓核医学定量評価によるCMD/INOCAの予後層別化と治療戦略	福嶋 善光
シンポジウム5	脂肪酸代謝を再考する：古くて新しい可能性を秘めた代謝イメージング	脂肪酸代謝イメージングの臨床的意義：心筋血流ではなく、心筋虚血を診る	中川 正康
		心臓核医学が拓くTGCV治療への架け橋― 脂肪酸代謝イメージングを「細胞内TG」から再構築する ―	宮内 秀行

配信セッションは変更になる可能性があります。(2026年6月5日現在)